



Salama! 2 学期が始まって約1か月が経った頃ですが、いかがお過ごしですか?暑さが続いたり、急に涼しい日があったりして体調を崩しやすい季節ですので、Salama (健康) 第一で過ごしてくださいね。マダガスカルは、これから夏になるところです (南半球にあるので、日本とは季節が逆です)。

さて、今回は「JICA 海外協力隊 (旧・青年海外協力隊)」について、簡単に説明をします。

●JICA 海外協力隊 JOCV...Japan Overseas Cooperation Volunteers

JICA 海外協力隊 (旧・青年海外協力隊) の事業は 1965 年、東京オリンピックの 1 年後に始まりました。現在の派遣先は 99 か国。インフラ整備などの国の事業とは異なり、地域の人とともに暮らしながら、ともに課題を解決し「持続可能な開発」を目指す、草の根のボランティアです。

主に、教育、社会福祉、医療、農林水産、エネルギー、鉱工業、商業・観光... などの分野、180 種類以上の職種で、様々な人が派遣されています。私は今回、**教育分野**で派遣されており、地域の小学校を巡回しながら、教育方法や学校環境改善、手洗い・歯磨きなど学校保健などの指導に携わります。

●協力隊になるには?

20 歳から 69 歳まで応募ができます。協力隊になるために、必要なこと、それは…

★第一に、**熱意と健康!** (合格・派遣後も重要!)

★**試験を突破:**書類選考、健康診断、面接 (技術・人物面接など複数) →全てに合格したら、「候補生」とよばれます。

★**事前課題:**地域でのボランティア活動や「異文化理解」に関するレポートなどが課されます。

★**訓練を突破:**約 70 日間の合宿生活を送ります。訓練所は、①福島県・二本松訓練所と、②長野県・駒ヶ根訓練所の二か所があります。(私は二本松で訓練を受けました。)この中で午前 3 時間、午後 2 時間の語学訓練の他、「安全対策講座」、「活動管理手法」、「異文化理解」、「地域実践」という地域と密着した街づくりに関する活動など、さまざまな講義・演習を受講します。

全ての講座には、小レポートが課されます。講座の「確認試験」、語学の「中間試験」「最終試験」があります。この間は、「候補生・訓練生」と呼ばれます。残念ながら訓練の途中で脱落してしまう人もいます…。

(家庭の事情/心身の故障/試験に合格できなかった、等)

→これらの訓練を乗り越えたら、初めて「JICA 海外協力隊員」と呼ばれます。

福島県・二本松訓練所の場合は、派遣予定国 35 か国 (2019 年度訓練時)、様々な背景の人 (現職教員、企業で働いていた人、医療機関で働いていた人、大学卒業したばかりの人…) が集まっていたので、とても刺激になりました。ちなみに、最寄りのコンビニまでは、山道を徒歩で下って約 40 分。(もちろん、帰りはのぼり道。)週に 2 回の購買 (文房具やちょっとしたお菓子を買ってくれる。)が、オアシスのように感じられました…。

「人生なんて きっかけひとつ」
広瀬アリスさんが PR を行っている、
JICA 海外協力隊についてもっと知りたい方はこちらから!



ひとくちメモ

「ごちそうさま」にあたる表現はありません。大事にしたい日本語ですね。

ブログもぜひ見てください! 「まちょの宅急便 de マダガスカル」

<http://machomadagascar.exblog.jp/>

●マダガスカル語講座●
(よい一日を/めしあがれ…)

マゾトア
Mazotoa!

